

ふれあいKAWACHIネット



石の森 章太郎 作
生涯学習キャラクター マナビー

平成24年11月16日 第42号

河内教育事務所ふれあい学習課

宇都宮市竹林町1030-2

TEL 028-626-3183 FAX 028-626-3180 ふれあい学習課HP



河内地区内で行われている「ふれあい学習」を紹介するコーナーを第39号から始めました。

今後もシリーズ化して、『**突撃！ふれあい発見隊**』として様々な取組をご紹介しますので、お楽しみにしてください。

◎ コーナーに関する情報提供もお待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。

Vol.2 「泉が丘地域文化祭」

11/3～4の2日間、泉が丘小・中学校とコミュニティセンターを拠点に「泉が丘地域文化祭」が開催されました。なんと21回目を数えるそうです。連合自治会やまちづくり推進協議会を中心に「実行委員会」を設け企画していますが、年々規模は拡大し、児童生徒や地域の方の作品展示・フラダンスなどサークル活動のステージイベント・子どもお茶席・手打ちうどん等の模擬店・地域の方によるフリーマーケット等々、とても中身の詰まった文化祭でした。



子どもから大人まで皆笑顔で、世代を超えた交流がそこにはありました。会場設営では中学生がボランティアとして頑張ってくれたそうです。

「いい地域にいい子どもは育つ！」

そんなことを感じる素敵な地域でした。

Vol.3 「みんなで中央小学校に泊まろう！」

暑かった今年の夏、8/25（土）から1泊2日の日程で「第6回みんなで中央小学校に泊まろう！」が開催されました。小学生31名、中学生から大人まで地域の人々約70名が子どもたちの活動を支援し、釜川清掃や鮎のつかみどり、釜川縁日や夜の学校かくれんぼ等、大人と子どもが一緒になって楽しんでいる姿がとても印象的でした。教室に布団



釜川清掃



地域の方々等による縁日

を敷いて泊まった翌朝は、二荒山神社で西小学校の子どもたちと合同ラジオ体操をしたり宇都宮の歴史やオリオン通りの話を聴いたりして郷土理解を深めました。子どもたちが大人になった時に、きっと今度はその子どもたちにも同じような体験をさせてあげられるようになるのでしょうか。。。

「**地域が人をつくり、人が地域を創る**」

を実感できる取組でした。

※ **12月10日(月)に開催します「河内地区ふれあい学習ネットワーク」**で、今回紹介しました「みんなで中央小学校に泊まろう！」の実施委員の方から貴重なお話を伺えます。ぜひお越しください。

「家読（うちどく）のすすめ」

家読（うちどく）とは、家族で本を読んで感想を話し合ったり、好きな本をすすめあったり、読書習慣を共有することで**コミュニケーション**を図り、**家族の絆**を強める取組です。

家読（うちどく）にむずかしいきまりはありません。

家族で本を楽しむことができればそれが家読（うちどく）です。



今回は、ある学校で行われた家読（うちどく）について家庭に理解してもらうための取組みを紹介します。家読（うちどく）について興味をお持ちの方は「うちどく.com」家読推進プロジェクト公式HPまでアクセスしてみてください。さまざまな情報が載っています。

「クラスみんなDEリレー家読（うちどく）！」

① 1冊の家読（うちどく）おすすめの本を、**クラスみんなが輪番**で家読（うちどく）をしていく。絵本と記録表を入れて子どもが家に持ち帰る。

② 家読（うちどく）をして、記録表に感想等を書いてもらう。

以下は保護者に出したメッセージです。

「読むスタイルも自由、お話のスタイルも自由です。交代で読むのもいいし、読んであげるのもいいですね。たまには、お子さんに読んでもらうのもいいと思います。話は難しく考えないで、思ったことをお互い素直に話すのもいいですし、親が子に願いを込めて話をするのもいいものです。とにかく、本を通して子どもとのコミュニケーションとりながら楽しい時間を過ごしてほしいと願っています。」

③ 家読（うちどく）が済んだ次の日に学校に袋ごと持ってきて、次の子どもに渡す。このようにして**学級全員が同じ本**で家読（うちどく）を体験していく。

平成24年度社会教育主事ステップアップ研修

9月14日（金）に「平成24年度社会教育主事ステップアップ研修」を行いました。

〔社会教育主事講習の受講報告〕

今年度は宇都宮市立雀宮南小学校の脇賢紀先生、宇都宮市立御幸が原小学校の齋藤亜沙美先生の2名が新たに社会教育主事有資格者となりましたのでお知らせいたします。

〔第一部〕 講話 テーマ「学校が地域と関わるメリットとは」

講師は宇都宮大学准教授の佐々木英和先生。365歩のマーチの曲にのせて、学校コミュニティによる人間形成支援のメリットを分かりやすく説明されました。

〔第二部〕 グループ協議 テーマ「社会教育主事等が各地区の特色を生かしてどのような関わりができるか」

グループ協議では、近隣地区で集まり話し合いました。佐々木先生にはファシリテーターも務めていただき、最後に1分間でグループごとに発表するという目標をめざして熱い協議が続きました。さすがは社会教育主事有資格者の方々。時間内に意見をまとめ、すばらしい発表で終了することができました。



グループごとに工夫された発表



佐々木先生の中から隣の講話

〔参加者の感想〕 「とても参考になり、楽しむこともできた。」「佐々木先生の中から隣の講話がとても良かった。」「近い地区でのグループ協議だったのでおもしろかった。」等の意見が多数あり、充実した研修となりました。多くの御参加ありがとうございました。